

1. 学会関連情報

○エックス線被ばく事故検討WGページの立ち上げ (7月16日)

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/info/page.cgi?id=87>

○国際対応委員会 最近の活動の更新 (7月21日)

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/info/page.cgi?id=13>

○「IRPA Practical Guidance for Engagement with the Public on Radiation and Risk」翻訳WG全体会合第4回打合せ 議事録の公開 (7月23日)

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/info/page.cgi?id=80>

2. 関連する研究情報

論文紹介

○J. Radiol. Prot. 2021 Jul 20, Online ahead of print

ICRP は、2007 年勧告を更新する「放射線防護システム」の改訂に着手した。本稿の目的はどの分野を見直すことが最も効果的であるかについて議論を促し共同作業を開始し意見を求めるためである。

Keeping the ICRP recommendations fit for purpose

Clement C. et al.

<https://iopscience.iop.org/article/10.1088/1361-6498/ac1611>

○Science , Latest News , Jun. 29, 2021

6月24日に発表された米国科学・工学・医学アカデミーの報告書は、NASAが宇宙飛行士の放射線被曝に関する基準を改訂する計画を支持し、すべての宇宙飛行士の放射線量を生涯で600ミリシーベルトに制限するという新しい基準を勧告した。現在の基準値は、放射線がん死亡リスクが3%増加する線量で、提案された基準では性と年齢に関係なく全ての宇宙飛行士が35歳の女性の許容線量に制限する。

New NASA radiation standards for astronauts seen as leveling field for women

Anil Oza

<https://www.sciencemag.org/news/2021/06/new-nasa-radiation-standards-astronauts-seen-leveling-field-women>

○J. Radiol. Prot. 41 139, 2021

ICRP が開発したメッシュ型ファントムは複雑な骨や小さな骨の解剖学的構造を大幅に改善した。放射線に敏感な骨格組織(骨髄と骨内膜)の平均吸収線量と比吸収割合を比較した。比較の結果、透過性の高い放射線の線量値はボクセル型の線量値と類似したが、透過性の低い放射線は、最大で 140 倍もの大きな差が見られた。

Development of skeletal systems for ICRP pediatric mesh-type reference computational phantoms

Chansoo Choi et al

<https://iopscience.iop.org/article/10.1088/1361-6498/abd88d>

○Int J Radiat Biol 2021 Jul 16;1-26. Online ahead of print

放射線発がんの突然変異誘発モデルは、放射線照射後にマウスの生存曲線が若年化するという観察された線量依存的な平行移動を説明できない。この可能性のあるメカニズムとして、自然発生癌の早期発症を促す様々な種類の組織損傷の放射線誘発を検討した。

Re-examining the role of tissue inflammation in radiation carcinogenesis: a hypothesis to explain an earlier onset of cancer

Nakamura, N.

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/34270352/>

○Sci Rep. 2021 Jul 19;11(1):14651.

福島第一原子力発電所の事故直後に避難した精神科入院患者の長期予後との関連をこのレトロスペクティブコホート研究で事故直後に病院から避難した 777 名を解析対象とした。生存期間を単変量解析および多変量解析を行い、死亡率と避難の直線距離、および精神科/身体的特徴を含む異なる背景との関連を検討した。避難距離が長いほど、ハザード比が有意に低く、死亡率が低いことが示された。

Long-term observation of mortality among inpatients evacuated from psychiatric hospitals in Fukushima prefecture following the Fukushima nuclear disaster.

Terui, T. et al.

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/34282221/>

○Journal of Radiation Protection and Research, Published online (in press)

2018年の創設以来、IRPA YGN(IRPA 若手ネットワーク)は、放射線防護や関連分野の学生や若手専門家間の国際的協働を進めるために、様々な活動を行ってきた。本稿では、「Joint JHPS-SRP-KARP Workshop of Young Generation Network (2019年日本)」、「Nuclear Energy Agency Workshop on Optimization: Rethinking the Art of Reasonable」(2020年

ポルトガル)」、「放射線防護分野の若手における COVID-19 の影響調査 2019」、「IRPA15(2021年オンライン開催)」を中心に、近年の活動報告を紹介する。

The IRPA Young Generation Network: Activity Report from the Middle of 2018 to the Beginning of 2021

Sylvain Andresz et al.

<https://www.jrpr.org/journal/view.php?number=1088>

3. ニュースや社会の動き

○原子力規制庁 第 63 回原子炉主任技術者試験口頭試験の施行 (7月12日)

https://www.nsr.go.jp/procedure/examination/reactor/20210712_01.html

○原子力規制庁 令和4年度以降の安全研究の進め方 (7月14日)

<https://www.nsr.go.jp/data/000359224.pdf>

○原子力規制庁 技術基盤グループの研究組織体制の見直し案 (7月14日)

<https://www.nsr.go.jp/data/000359225.pdf>

○原子力規制庁、原子力規制人材育成事業の実績と今後の実施方針 (7月14日)

<https://www.nsr.go.jp/data/000359229.pdf>

○原子力規制庁 令和3年度「原子力人材育成等推進事業費補助金(原子力規制人材育成費)」について (7月15日)

<https://www.nsr.go.jp/nra/chotatsu/hojyokin/20210715.html>

○第5回 QST 国際シンポジウム 開催日 9月21日-22日 幕張メッセ

<https://www.qst.go.jp/site/qms/event210921.html>

○未来博士3分間コンペティション 2021(副賞あり) 参加者募集

https://hiraku.hiroshima-u.ac.jp/event/competition_2021/

4. これからのイベント

○弘前大学被ばく医療総合研究所「第3回 国際放射線科学コラボレーションセンターセミナー」
(8月17日 17:00- zoom)

http://www.irem.hirosaki-u.ac.jp/news_detail_20210727_1.html

○応用物理学会 放射線分科会(主催)、「次世代放射線シンポジウム 2021(第33回放射線夏の学校)」(8月19日～20日、オンライン開催(Zoom))

<http://enep.ence.kyushu-u.ac.jp/2021ss/index.html>

○公益財団法人原子力安全技術センター(厚生労働省委託事業)、「放射線被ばく管理マネジメントシステムの導入支援事業」:放射線業務を行う医療機関を対象に、研修と個別支援を通じて、放射線業務に従事する医療従事者の被ばく低減を支援する事業。(申請締切 8月6日)

<https://ms.nustec.org>

○日本放射線事故・災害医学会、第9回年次学術集会(9月4日、オンライン開催(Zoom Webinar))(参加登録締切 8月23日)

<http://jaradm.org/gakujutsu.html>

○ICRPが次の放射線防護体系の検討に向けたデジタルワークショップを開催 10月19-20日

<https://icrp.kindful.com/e/future-of-rp>

5. 公募情報、学生・ポスドク受入情報

○長崎大学 放射線リスク制御部門国際保健医療福祉学研究分野 助教(8月19日必着)

https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D121070633&ln_jor=0

○九州大学 医用量子線科学分野 講師または助教(有期教員5年)(9月17日必着)

https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D121070971&ln_jor=0

○日本原子力研究開発機構核不拡散・核セキュリティ総合支援センター 任期付研究員(8月18日必着)

<https://www.jaea.go.jp/saiyou/employment/977/>

○福島イノベーション・コースト構想推進機構 東日本大震災・原子力災害伝承館調査・研究部門 常勤(任期3～5年)(9月24日 消印有効)

https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D121071254&ln_jor=0

○福島県職員 任期付研究員(環境職・社会科学職)(8月25日必着)

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01125c/ninkitukikenkyuuin-r3kankyuu.html>

既発行のNewsletterはこちらです。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/newsletter/page.cgi>

Newsletterにて会員に有益な最新論文やイベント情報等の発信を希望する情報をお持ちの方は、学会事務局へご連絡・お問い合わせください。

— —

【発行】一般社団法人日本保健物理学会

【編集】同コミュニケーション委員会 Newsletter 作成グループ

【発信元】同学会事務局

TEL: 03-6205-4649 FAX: 03-6205-4659

E-mail: exec.off@jhps.or.jp

— —